

# 決算補足説明資料

## 2014年度 第2四半期決算

2014年10月29日  
田辺三菱製薬株式会社  
証券コード: 4508



田辺三菱製薬

本資料に関するお問い合わせ  
広報部 TEL 06-6205-5211  
FAX 06-6205-5105

## 目次

<b>1</b>	<b>2014年度第2四半期 決算の概要</b>	
	1. 2014年度第2四半期 業績サマリー 2. 2014年度 業績予想サマリー 3. 配当金	2
<b>2</b>	<b>2014年度第2四半期 連結決算について</b>	
	1. 損益状況	3
	① 損益実績 ② 売上原価／販売費及び一般管理費	3
	③ 営業外損益 ④ 特別損益 ⑤ 法人税等	4
	⑥ 主要製品売上高	5
	2. 財務状況	6
	① 資産・負債・純資産の状況	6
	② キャッシュ・フロー計算書	7
	③ 設備投資／情報システム開発投資 ④ 減価償却費	8
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数	8
<b>3</b>	<b>2014年度 業績予想について</b>	
	① 損益予想 ② 売上原価／販売費及び一般管理費予想	9
	③ 主要製品売上高予想	10
	④ 設備投資／情報システム開発投資予想 ⑤ 減価償却費予想	11
<b>4</b>	<b>5か年連結財務数値</b>	
	① 損益計算書 ② 貸借対照表 ③ その他財務数値 ④ 従業員数	12
<b>5</b>	<b>四半期業績の推移</b>	
	① 損益計算書	13
	② 主要製品売上高	14
<b>6</b>	<b>新製品開発状況について(2014年10月29日現在)</b>	
	1. 新規薬剤	15
	2. 効能追加	16
	3. 導出品	17
	4. 2014年度第1四半期決算発表時点(2014年7月29日)からの変更点	18
	① 自社開発品 ② 導出品	18
	5. 新製品開発状況補足資料(2014年10月29日現在)	19
	① 新規薬剤 ② 効能追加	19
	③ 導出品	20
<b>7</b>	<b>その他</b>	
	1. 関係会社	21
	① 関係会社数 ② 連結子会社一覧 ③ 持分法適用関連会社一覧	21
	2. 株式の状況	22
	① 発行済株式数 ② 大株主の状況 ③ 所有者別株式数分布状況	22
	④ 配当金／株価推移	22
<b>参考</b>		
	主要医療用医薬品の解説／ニュースリリース	23

# 1 2014年度第2四半期 決算の概要

(億円未満四捨五入)

## 1. 2014年度第2四半期 業績サマリー

売上高	1,989 億円	前年同期比	△ 40 億円	△ 1.9 %
○国内	1,650 億円	前年同期比	△ 117 億円	△ 6.6 %
○海外	339 億円	前年同期比	77 億円	29.5 %

売上高は前年同期比△1.9%、40億円減収の1,989億円となりました。  
 国内医療用医薬品は、本年4月の薬価改定やジェネリック医薬品の影響拡大などにより、前年同期比9.2%減収の1,552億円となりました。  
 ロイヤリティ収入等は、ノバルティスに導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」に加えて、ヤンセンファーマシューティカルズに導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」のロイヤリティ収入等の増加により、前年同期比82.3%増収の279億円となりました。

営業利益	350 億円	前年同期比	45 億円	14.8 %
------	--------	-------	-------	--------

営業利益は前年同期比+14.8%、45億円増益の350億円となりました。  
 薬価改定やジェネリック医薬品の影響が大きかったものの、ロイヤリティ収入等の増加により、売上総利益はほぼ前年同期並みの1,207億円となりました。それらの影響を受けて、売上原価率は前年同期比1.3ポイント低下しております。  
 販売費及び一般管理費は、研究開発費が減少したことに加え、退職給付費用の減少により人件費が減少したことなどにより、前年同期比42億円減少し、858億円となりました。  
 なお、研究開発費は319億円、売上高に対する割合は16.1%となっております。

経常利益	355 億円	前年同期比	33 億円	10.1 %
------	--------	-------	-------	--------

四半期純利益	325 億円	前年同期比	40 億円	13.9 %
--------	--------	-------	-------	--------

経常利益は前年同期比+10.1%、33億円増益の355億円、四半期純利益は前年同期比+13.9%、40億円増益の325億円となりました。  
 固定資産売却益、投資有価証券売却益など136億円の特別利益が発生しました。なお、前年同期には、仲裁裁定に伴う特別利益などで119億円の特別利益を計上しております。  
 関係会社整理損、減損損失など27億円の特別損失が発生しました。

## 2. 2014年度 業績予想サマリー

売上高	4,060 億円	前期比	△ 67 億円	△ 1.6 %
営業利益	600 億円	前期比	9 億円	1.5 %
経常利益	615 億円	前期比	△ 4 億円	△ 0.6 %
当期純利益	405 億円	前期比	△ 49 億円	△ 10.8 %

## 3. 配当金

	2014年度		2013年度	
	上期末	年間(予想)	上期末	年間
1株当たり配当金(円)	20	40	20	40
配当性向 (のれん償却前)	-	55.4%	-	49.4%
	(-)	(44.4%)	(-)	(40.5%)

## 2 2014年度第2四半期 連結決算について

(億円未満四捨五入)

### 1. 損益状況

#### ① 損益実績

(単位:億円)

	2014年度上期	前年同期比較			当初予想との比較			主なポイント(前年同期比較)
		2013年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注)	増減額	増減率%	
売上高	1,989	2,028	△ 40	△ 1.9	2,010	△ 21	△ 1.1	P5「⑥ 主要製品売上高」参照 海外売上高比率 2013年度上期:12.9% 2014年度上期:17.0% 平均為替レート 2013年度上期:1US\$=98.65円 2014年度上期:1US\$=103.61円
国内	1,650	1,767	△ 117	△ 6.6	1,672	△ 22	△ 1.3	
海外	339	262	77	29.5	338	1	0.2	
売上原価	782	824	△ 42	△ 5.1	785	△ 3	△ 0.4	
売上原価率	39.3%	40.6%			39.1%			
売上総利益	1,207	1,204	3	0.2	1,225	△ 18	△ 1.5	
販管費	858	900	△ 42	△ 4.7	930	△ 72	△ 7.8	
販管費比率	43.1%	44.4%			46.3%			
営業利益	350	305	45	14.8	295	55	18.5	
経常利益	355	322	33	10.1	305	50	16.2	
特別損益	109	111	△ 2	-	10	99	-	
四半期純利益	325	285	40	13.9	210	115	54.8	

#### ② 売上原価／販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	2014年度上期	前年同期比較			当初予想との比較			主なポイント(前年同期比較)
		2013年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注)	増減額	増減率%	
売上原価	782	824	△ 42	△ 5.1	785	△ 3	△ 0.4	
比率	39.3%	40.6%			39.1%			
販管費	858	900	△ 42	△ 4.7	930	△ 72	△ 7.8	
比率	43.1%	44.4%			46.3%			
研究開発費	319	343	△ 24	△ 6.9	360	△ 41	△ 11.3	
比率	16.1%	16.9%			17.9%			
研究開発費以外	538	557	△ 19	△ 3.3	570	△ 32	△ 5.6	
人件費	230	239	△ 8	△ 3.5	235	△ 5	△ 2.0	退職給付費用の減少など
のれん償却額	54	53	1	2.5	54	0	△ 0.1	
その他	254	266	△ 12	△ 4.4	281	△ 27	△ 9.6	
総人件費	398	418	△ 19	△ 4.7	401	△ 3	△ 0.6	

(注) 2014年5月8日 2013年度決算発表時に公表した予想数値

当社は、2014年10月21日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表し、2014年度第2四半期連結業績予想数値を修正いたしました。修正後の予想数値は、売上高 1,985億円(当初予想比△25億円)、営業利益 345億円(同+50億円)、経常利益 350億円(同+45億円)、四半期純利益 325億円(同+115億円)となっております。

③ 営業外損益

(単位:億円)

	2014年度上期	2013年度上期	増減額	主なポイント
営業外収益	18	36	△ 18	
受取利息	8	8	0	
受取配当金	4	5	0	
持分法による投資利益	0	3	△ 3	
為替差益	0	11	△ 11	
その他	6	10	△ 4	
営業外費用	13	18	△ 6	
支払利息	1	0	1	
寄付金	3	2	1	
その他	8	16	△ 7	

④ 特別損益

(単位:億円)

	2014年度上期	2013年度上期	増減額	主なポイント
特別利益	136	119	16	
固定資産売却益	119	-	119	旧日本橋ビル跡地売却益
投資有価証券売却益	11	-	11	
関係会社株式売却益	6	-	6	エーピーアイコーポレーション、シミックCMO足利の株式売却益
仲裁裁定に伴う特別利益	-	110	△ 110	前期)レミケードの仲裁裁定による精算金など
段階取得に係る差益	-	9	△ 9	前期)メディカゴ株式取得に伴う既保有分の時価評価差益
特別損失	27	9	18	
減損損失	9	8	1	当期)戸田寮ほか 前期)吉富旧研究棟ほか
投資有価証券評価損	1	-	1	
関係会社整理損	14	-	14	三菱製薬(広州)譲渡に伴う損失
その他	2	1	2	

⑤ 法人税等

(単位:億円)

	2014年度上期	2013年度上期	増減額	主なポイント
税金等調整前当期純利益	464	433	31	
法人税、住民税 及び事業税	161	144	17	
法人税等調整額	△ 15	3	△ 18	
少数株主損益	△ 8	0	△ 8	
四半期純利益	325	285	40	

⑥ 主要製品売上高

(単位:億円)

	2014年度上期	前期比較			予想比較		
		2013年度上期	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
医療用医薬品	1,965	1,996	△ 31	△ 1.6	1,986	△ 21	△ 1.1
国内医療用医薬品	1,552	1,710	△ 158	△ 9.2	1,579	△ 27	△ 1.7
レミケード	352	390	△ 38	△ 9.8	333	19	5.8
タリオン	61	51	10	18.6	56	5	8.6
セレジスト	79	91	△ 12	△ 13.6	79	0	0.0
メインテート	72	77	△ 6	△ 7.4	79	△ 7	△ 9.4
シンボニー	50	44	6	13.8	54	△ 4	△ 6.7
ヴェノグロブリンH	57	56	0	0.2	63	△ 6	△ 10.3
クレメジン	54	64	△ 10	△ 15.4	60	△ 6	△ 9.7
ウルソ	51	64	△ 13	△ 20.4	56	△ 5	△ 9.2
アンブラーグ	44	59	△ 15	△ 25.8	48	△ 4	△ 9.3
デバス	41	50	△ 9	△ 17.7	45	△ 4	△ 9.1
レクサプロ	34	24	10	40.1	42	△ 8	△ 18.8
ラジカット	38	57	△ 19	△ 33.6	37	1	2.6
テネリア	27	0	26	-	31	△ 4	△ 14.0
ヘルベッサー	28	35	△ 7	△ 19.9	30	△ 2	△ 5.4
タナトリル	24	32	△ 8	△ 24.8	27	△ 3	△ 10.6
ワクチン	111	140	△ 29	△ 20.6	105	6	5.7
インフルエンザ	9	11	△ 2	△ 20.2	8	1	10.9
テトラビック	36	34	2	4.8	39	△ 3	△ 8.6
水痘ワクチン	19	19	0	△ 0.4	12	7	60.4
田辺製薬販売取扱品(注2)	64	67	△ 2	△ 3.5	66	△ 2	△ 2.4
海外医療用医薬品	113	104	9	8.7	113	0	0.3
ヘルベッサー	35	28	7	25.1	33	2	4.9
アルガトロバン(ノバスタン)	13	14	△ 1	△ 7.2	13	0	△ 3.4
タナトリル	10	8	2	22.1	11	△ 1	△ 6.5
製造受託品(注3)	21	29	△ 9	△ 29.3	17	4	22.3
ロイヤリティ収入等	279	153	126	82.3	277	2	0.6
ジレニア ロイヤリティ	188	141	48	33.9	非開示	-	-
一般用医薬品	22	24	△ 3	△ 10.3	22	0	△ 0.8
売上高合計	1,989	2,028	△ 40	△ 1.9	2,010	△ 21	△ 1.1

(注1) 2014年5月8日 2013年度決算発表時に公表した予想数値

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注3) 他社製品の製造受託品等

## 2. 財務状況

### ① 資産・負債・純資産の状況

(単位:億円)

	2014年度 第2四半期末	構成比%	2013年度末	増減額	主なポイント
<b>総資産</b>	<b>9,031</b>	<b>100.0</b>	8,865	166	
流動資産	5,805	64.3	5,405	400	
現金及び預金	241	2.7	272	△ 31	P7「② キャッシュ・フロー計算書」参照
有価証券	1,282	14.2	1,065	217	譲渡性預金の増加など
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	1,270 (3.83)	14.1	1,235 (3.59)	35 (0.24)	
たな卸資産	978	10.8	937	41	
預け金	1,825	20.2	1,721	103	
繰延税金資産	110	1.2	82	28	
その他	99	1.1	93	6	
固定資産	3,226	35.7	3,460	△ 234	
有形固定資産	972	10.8	983	△ 12	設備投資 +62億円、減価償却 △37億円、 減損・除売却など △13億円など
無形固定資産	1,263	14.0	1,331	△ 68	情報システム開発投資 +8億円、減価償却 △8億円、 合併時のれん償却 △50億円など
投資有価証券	678	7.5	716	△ 38	エービーアイコーポレーション株式売却による減少など
繰延税金資産	5	0.1	7	△ 2	
退職給付に係る資産	66	0.7	163	△ 98	
その他	243	2.7	260	△ 17	
<b>負債</b>	<b>1,108</b>	<b>12.3</b>	1,086	21	
流動負債	873	9.7	818	54	
仕入債務(注2)	324	3.6	340	△ 16	
短期借入金	-	-	12	△ 12	
1年内返済予定の長期借入金	1	0.0	1	0	
未払金	167	1.8	168	△ 1	
未払法人税等	165	1.8	102	63	
賞与引当金	99	1.1	102	△ 3	
関係会社整理損失引当金	14	0.2	-	14	
その他	104	1.1	94	10	
固定負債	235	2.6	268	△ 33	
長期借入金	9	0.1	10	0	
繰延税金負債	98	1.1	134	△ 35	
HIV訴訟健康管理手当等引当金	16	0.2	16	-	
スモン訴訟健康管理手当等引当金	28	0.3	30	△ 2	
HCV訴訟損失引当金	24	0.3	26	△ 3	
退職給付に係る負債	30	0.3	21	8	
その他	31	0.3	32	△ 1	
<b>純資産</b>	<b>7,923</b>	<b>87.7</b>	7,778	144	
株主資本	7,803	86.4	7,673	130	
資本金	500	5.5	500	-	
資本剰余金	4,512	50.0	4,512	-	
利益剰余金	2,796	31.0	2,666	130	当期純利益 +325億円、配当金支払い △112億円
自己株式	△ 5	△ 0.1	△ 5	0	
その他の包括利益累計額	1	0.0	△ 12	13	
その他有価証券評価差額金	90	1.0	87	2	
繰延ヘッジ損益	-	-	5	△ 5	
為替換算調整勘定	△ 14	△ 0.2	△ 24	10	
退職給付に係る調整累計額	△ 75	△ 0.8	△ 81	6	
少数株主持分	120	1.3	118	2	

(注1) 売上債権＝受取手形＋売掛金 (注2) 仕入債務＝支払手形(除く営業外支払手形)＋買掛金

## ② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2014年度上期	2013年度上期	増減額
現金・現金同等物期首残高	850	587	262
営業キャッシュ・フロー	254	368	△ 114
税金等調整前四半期純利益	464	433	31
減価償却費	45	43	2
減損損失	9	8	1
のれん償却額	54	53	1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	-	△ 6	6
前払年金費用の増減額(△は増加)	-	12	△ 12
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△ 21	-	△ 21
HCV訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△ 3	△ 4	1
受取利息及び受取配当金	△ 12	△ 12	1
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	14	-	14
関係会社株式売却損益(△は益)	△ 6	-	△ 6
固定資産除売却損益(△は益)	△ 118	-	△ 118
仲裁裁定に伴う特別利益	-	△ 110	110
段階取得に係る差損益(△は益)	-	△ 9	9
投資有価証券売却損益(△は益)	△ 11	-	△ 11
売上債権の増減額(△は増加)	△ 33	21	△ 54
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 40	△ 34	△ 5
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 17	△ 7	△ 10
未払金の増減額(△は減少)	△ 13	△ 12	△ 1
利息及び配当金の受取額	12	13	△ 1
仲裁裁定金の受取額	-	122	△ 122
法人税等の支払額	△ 97	△ 158	61
その他	27	16	11
投資キャッシュ・フロー	△ 73	△ 91	18
有価証券の取得・売却等	△ 133	228	△ 361
定期預金の預入・払戻	21	△ 71	92
預け金の預入による支出	△ 103	△ 3	△ 101
有形固定資産の取得・売却	62	△ 50	112
無形固定資産の取得による支出	△ 8	△ 11	2
投資有価証券の取得・売却等	12	30	△ 18
子会社株式の取得による支出	-	△ 35	35
関係会社株式の売却による収入	76	-	76
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△ 179	179
その他	0	△ 1	1
財務キャッシュ・フロー	△ 114	△ 109	△ 5
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 12	0	△ 12
長期借入れによる収入	-	4	△ 4
少数株主からの払込みによる収入	11	-	11
配当金の支払額	△ 112	△ 112	-
その他	△ 1	0	0
現金・現金同等物に係る換算差額	7	6	1
現金・現金同等物の増減額(△は減少)	74	175	△ 101
現金・現金同等物期末残高	923	762	161

\* 現金・現金同等物の期末残高と連結貸借対照表上の現金及び預金との関係(単位:億円)

	2014年度上期	2013年度上期
現金及び預金	241	338
預入期間が3か月を超える定期預金	△ 29	△ 96
取得日から3か月以内に償還期限が到来する有価証券	505	315
短期貸付金(注)に含まれる現金同等物	6	4
預け金に含まれる現金同等物	200	201
現金・現金同等物	923	762

(注)短期貸付金は、連結貸借対照表(6ページ)上は流動資産その他に含めております。



③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2014年度上期	2013年度上期	増減額	2013年度
設備投資額／発生ベース	62	68	△ 6	126
システム投資額／発生ベース	8	11	△ 3	21

2014年度上期の主な設備投資		2014年度上期の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	35億円	田辺三菱製薬	7億円
(新本社・加島オフィス棟建設)	(28億円)		
田辺三菱製薬工場	18億円		

④ 減価償却費

(単位:億円)

	2014年度上期	2013年度上期	増減額	2013年度
有形固定資産	37	37	0	79
無形固定資産	8	6	2	13

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	田辺三菱製薬工場	田辺製薬販売	ミツビシ タナベファーマ コリア	メディカゴ	天津田辺製薬	タナベ インドネシア
売上高	2014年度上期	191	64	21	9	21	16
	2013年度	472	141	41	0	36	23
	2013年度上期	242	67	21	-	18	12
営業利益	2014年度上期	16	△ 1	2	△ 12	2	2
	2013年度	12	4	3	△ 13	1	3
	2013年度上期	3	2	2	-	0	2
経常利益	2014年度上期	17	△ 1	2	△ 13	3	2
	2013年度	11	4	4	△ 12	1	3
	2013年度上期	3	2	2	-	0	1
当期純利益	2014年度上期	13	△ 1	1	△ 14	2	1
	2013年度	7	3	3	△ 12	0	2
	2013年度上期	2	1	1	-	0	1
研究開発費	2014年度上期	7	-	-	21	1	0
	2013年度	12	-	-	14	0	0
	2013年度上期	6	-	-	-	-	0
有形固定資産減価償却費	2014年度上期	11	0	0	2	0	0
	2013年度	24	0	1	1	1	1
	2013年度上期	11	0	0	-	0	0
総資産	2014年度2Q末	501	53	35	357	55	32
	2013年度末	576	63	33	365	44	36
	2013年度2Q末	623	53	30	-	37	25
純資産	2014年度2Q末	375	3	28	247	34	17
	2013年度末	398	5	26	241	30	16
	2013年度2Q末	393	3	24	-	29	14
従業員数(人)	2014年度2Q末	1,099	173	123	226	468	463
	2013年度末	1,394	172	125	189	456	480
	2013年度2Q末	1,409	171	126	-	446	488

### 3 2014年度 業績予想について

(億円未満四捨五入)

#### ① 損益予想

(単位:億円)

	2014年度 修正予想(注1)	当初予想との比較			前期比較			主なポイント(前期比較)
		当初予想(注2)	増減額	増減率%	2013年度実績	増減額	増減率%	
売上高	4,060	4,090	△ 30	△ 0.7	4,127	△ 67	△ 1.6	海外売上高比率 2013年度:14.4% 2014年度予想:17.3% 計画為替レート 1US\$ = 105円
国内	3,357	3,392	△ 35	△ 1.0	3,533	△ 176	△ 5.0	
海外	703	698	5	0.7	594	109	18.4	
売上原価	1,640	1,615	25	1.5	1,694	△ 54	△ 3.2	
売上原価率	40.4%	39.5%			41.0%			
売上総利益	2,420	2,475	△ 55	△ 2.2	2,433	△ 13	△ 0.5	
販管費	1,820	1,875	△ 55	△ 2.9	1,842	△ 22	△ 1.2	
販管費比率	44.8%	45.8%			44.6%			
営業利益	600	600	0	0.0	591	9	1.5	
経常利益	615	615	0	0.0	619	△ 4	△ 0.6	
特別損益	0	0	0	-	106	△ 106	-	
当期純利益	405	405	0	0.0	454	△ 49	△ 10.8	

#### ② 売上原価／販売費及び一般管理費予想

(単位:億円)

	2014年度 修正予想(注1)	当初予想との比較			前期比較			主なポイント(前期比較)
		当初予想(注2)	増減額	増減率%	2013年度実績	増減額	増減率%	
売上原価	1,640	1,615	25	1.5	1,694	△ 54	△ 3.2	
比率	40.4%	39.5%			41.0%			
販管費	1,820	1,875	△ 55	△ 2.9	1,842	△ 22	△ 1.2	
比率	44.8%	45.8%			44.6%			
研究開発費	725	730	△ 5	△ 0.7	704	21	3.0	
比率	17.9%	17.8%			17.1%			
研究開発費以外	1,095	1,145	△ 50	△ 4.4	1,138	△ 43	△ 3.8	
人件費	462	470	△ 8	△ 1.7	484	△ 22	△ 4.5	
のれん償却額	108	108	0	0.0	106	2	1.5	
その他	525	567	△ 42	△ 7.4	548	△ 23	△ 4.2	
総人件費	800	810	△ 10	△ 1.2	850	△ 50	△ 5.9	

(注1) 当社は2014年10月21日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

(注2) 2014年5月8日 2013年度決算発表時に公表した2014年度業績予想数値

③ 主要製品売上高予想

(単位:億円)

	2014年度 修正予想(注1)	当初予想との比較			前期比較		
		当初予想(注2)	増減額	増減率%	2013年度実績	増減額	増減率%
医療用医薬品	4,013	4,043	△ 30	△ 0.7	4,072	△ 59	△ 1.4
国内医療用医薬品	3,225	3,260	△ 35	△ 1.1	3,417	△ 193	△ 5.6
レミケード	703	687	16	2.4	763	△ 60	△ 7.9
タリオン	164	157	7	4.3	137	27	19.6
セレジスト	154	153	1	0.7	178	△ 24	△ 13.4
メインテート	145	160	△ 15	△ 9.7	155	△ 10	△ 6.5
シンポニー	115	120	△ 5	△ 3.9	94	22	23.2
ヴェノグロブリンH	115	118	△ 3	△ 2.9	111	3	3.1
クレメジン	105	120	△ 15	△ 12.4	126	△ 20	△ 16.2
ウルソ	99	110	△ 11	△ 10.1	124	△ 25	△ 20.4
アンブラーグ	84	92	△ 8	△ 9.2	112	△ 28	△ 25.1
デパス	81	89	△ 8	△ 9.1	98	△ 17	△ 17.4
レクサプロ	80	94	△ 14	△ 14.8	65	16	24.0
ラジカット	72	70	2	2.8	109	△ 37	△ 34.2
テネリア	65	67	△ 2	△ 3.5	8	57	714.4
ヘルベッサー	55	58	△ 3	△ 4.5	69	△ 13	△ 19.4
タナトリル	46	52	△ 6	△ 11.3	62	△ 16	△ 25.3
ワクチン	282	273	9	3.3	284	△ 2	△ 0.7
インフルエンザ	76	75	1	1.2	72	4	5.1
テトラビック	71	76	△ 5	△ 7.1	67	3	5.1
水痘ワクチン	52	42	10	24.4	36	16	45.7
田辺製薬販売取扱品(注3)	137	144	△ 7	△ 4.9	141	△ 4	△ 2.5
海外医療用医薬品	220	215	5	2.1	220	△ 1	△ 0.3
ヘルベッサー	60	60	0	0.2	58	2	4.1
アルガトロバン(ノバスタン)	22	24	△ 2	△ 7.0	27	△ 4	△ 15.8
タナトリル	21	20	1	4.3	18	3	15.1
製造受託品(注4)	33	32	1	3.7	58	△ 25	△ 43.1
ロイヤリティ収入等	536	536	0	0.0	376	160	42.5
ジレニア ロイヤリティ	非開示	非開示	-	-	322	-	-
一般用医薬品	43	43	0	△ 0.3	45	△ 2	△ 4.0
売上高合計	4,060	4,090	△ 30	△ 0.7	4,127	△ 67	△ 1.6

(注1) 当社は2014年10月21日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

(注2) 2014年5月8日 2013年度決算発表時に公表した2014年度業績予想数値

(注3) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注4) 他社製品の製造受託品等

④ 設備投資／情報システム開発投資予想 (単位:億円)

	2014年度 通期予想	2013年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額／発生ベース	149	126	23	18.1
システム投資額／発生ベース	15	21	△ 6	△ 29.0

2014年度の主な設備投資予定		2014年度の主なシステム投資予定	
生産関係設備	43億円	研究開発関係システム	7億円
研究開発関係設備	40億円	生産関係システム	1億円
その他 (新本社・加島オフィス棟建設)	66億円 (60億円)	その他	7億円

⑤ 減価償却費予想 (単位:億円)

	2014年度 通期予想	2013年度 通期実績	増減額	増減率%
有形固定資産	78	79	△ 1	△ 1.2
無形固定資産	16	13	3	26.1

## 4 5ヵ年連結財務数値

(億円未満四捨五入)

## ① 損益計算書

(単位:億円)

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度上期	2014年度予想
売上高	4,095	4,072	4,192	4,127	1,989	4,060
売上原価	1,546	1,523	1,664	1,694	782	1,640
売上総利益	2,550	2,549	2,528	2,433	1,207	2,420
販管費	1,784	1,858	1,838	1,842	858	1,820
研究開発費	658	702	665	704	319	725
営業利益	766	690	690	591	350	600
経常利益	767	688	694	619	355	615
特別利益	6	12	42	153	136	0
特別損失	132	61	59	48	27	
当期純利益	377	390	419	454	325	405

## ② 貸借対照表

(単位:億円)

	2010年度末	2011年度末	2012年度末	2013年度末	2014年度上期末
総資産	8,187	8,199	8,668	8,865	9,031
流動資産	3,916	4,197	4,767	5,405	5,805
固定資産	4,271	4,003	3,901	3,460	3,226
負債	1,227	984	1,139	1,086	1,108
流動負債	877	696	861	818	873
固定負債	350	289	277	268	235
純資産	6,960	7,215	7,529	7,778	7,923

## ③ その他財務数値

(単位:億円)

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度上期	2014年度予想
営業キャッシュ・フロー	591	372	606	699	254	-
投資キャッシュ・フロー	△ 77	△ 632	△ 350	△ 243	△ 73	-
財務キャッシュ・フロー	△ 154	△ 172	△ 237	△ 211	△ 114	-
設備投資	102	71	92	126	62	149
情報システム開発投資	8	12	22	21	8	15
減価償却費	124	125	84	92	45	94
自己資本比率(%)	84.3	87.3	86.3	86.4	86.4	-
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	5.5	5.5	5.7	6.0	8.4	-
1株当たり当期純利益(円)	67.27	69.54	74.67	80.92	57.97	72.19
1株当たり純資産(円)	1,230.16	1,275.85	1,333.22	1,365.52	1,390.96	-

## ④ 従業員数

(単位:人)

	2010年度末	2011年度末	2012年度末	2013年度末	2014年度上期末	2014年度末予想
連結	9,198	9,180	8,835	9,065	8,843	8,477
単体	4,957	4,826	4,850	4,867	4,903	4,853

## 5 四半期業績の推移

(億円未満四捨五入)

### ① 損益計算書

(単位:億円)

	2013年度					2014年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	下期予想	通期予想
売上高	1,039 25.2%	989 24.0%	1,204 29.2%	895 21.7%	4,127 100.0%	946 23.3%	1,043 25.7%	2,071 51.0%	4,060 100.0%
国内	914 25.9%	853 24.1%	1,033 29.2%	734 20.8%	3,533 100.0%	798 23.8%	853 25.4%	1,707 50.8%	3,357 100.0%
海外	125 21.0%	137 23.0%	171 28.8%	161 27.1%	594 100.0%	148 21.1%	191 27.1%	364 51.8%	703 100.0%
売上原価	435	389	506	364	1,694	392	390	858	1,640
売上原価率	41.9%	39.3%	42.0%	40.7%	41.0%	41.4%	37.4%	41.4%	40.4%
売上総利益	604 24.8%	600 24.7%	698 28.7%	531 21.8%	2,433 100.0%	554 22.9%	653 27.0%	1,213 50.1%	2,420 100.0%
販売費及び 一般管理費	442 24.0%	458 24.9%	448 24.3%	495 26.9%	1,842 100.0%	417 22.9%	441 24.2%	962 52.9%	1,820 100.0%
研究開発費	176 24.9%	167 23.8%	171 24.3%	190 27.0%	704 100.0%	163 22.5%	156 21.5%	406 56.0%	725 100.0%
研究開発費 以外	266 23.4%	291 25.6%	277 24.3%	305 26.8%	1,138 100.0%	253 23.1%	285 26.0%	557 50.8%	1,095 100.0%
人件費	119 24.5%	120 24.8%	124 25.6%	121 25.1%	484 100.0%	111 24.0%	119 25.8%	232 50.2%	462 100.0%
のれん 償却額	26 24.5%	27 25.0%	26 24.5%	28 26.0%	106 100.0%	27 25.0%	27 25.0%	54 50.0%	108 100.0%
その他	121 22.2%	144 26.3%	127 23.1%	156 28.4%	548 100.0%	115 22.0%	139 26.4%	271 51.6%	525 100.0%
営業利益	162 27.5%	142 24.1%	251 42.4%	36 6.1%	591 100.0%	137 22.8%	213 35.5%	250 41.7%	600 100.0%
経常利益	171 27.6%	151 24.5%	256 41.3%	41 6.6%	619 100.0%	146 23.7%	209 34.0%	260 42.3%	615 100.0%
四半期 (当期)純利益	104 22.9%	181 39.9%	153 33.7%	15 3.4%	454 100.0%	96 23.7%	229 56.6%	80 19.7%	405 100.0%

(注)各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

② 主要製品売上高

(単位:億円)

	2013年度					2014年度			
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	下期予想 (注1)	通期予想 (注1)
医療用医薬品	1,023 25.1%	973 23.9%	1,191 29.3%	884 21.7%	4,072 100.0%	932 23.2%	1,033 25.7%	2,048 51.0%	4,013 100.0%
国内医療用医薬品	885 25.9%	824 24.1%	1,005 29.4%	702 20.5%	3,417 100.0%	775 24.0%	777 24.1%	1,673 51.9%	3,225 100.0%
レミケード	192 25.1%	199 26.0%	219 28.7%	154 20.2%	763 100.0%	173 24.7%	179 25.4%	351 49.9%	703 100.0%
タリオン	27 19.9%	24 17.5%	44 31.9%	42 30.7%	137 100.0%	33 19.8%	28 17.3%	103 62.9%	164 100.0%
セレジスト	47 26.5%	44 24.9%	50 28.4%	36 20.2%	178 100.0%	41 26.9%	38 24.4%	75 48.7%	154 100.0%
メインテート	40 25.7%	38 24.3%	44 28.6%	33 21.4%	155 100.0%	38 26.1%	34 23.4%	73 50.5%	145 100.0%
シンボニー	21 22.1%	24 25.2%	28 29.8%	21 22.9%	94 100.0%	25 21.3%	26 22.3%	65 56.3%	115 100.0%
ヴェノグロブリンH	29 26.2%	27 24.6%	34 30.3%	21 18.9%	111 100.0%	28 24.7%	28 24.7%	58 50.6%	115 100.0%
クレメジン	32 25.8%	32 25.2%	35 28.1%	26 20.9%	126 100.0%	28 26.6%	26 24.9%	51 48.5%	105 100.0%
ウルソ	33 26.5%	31 25.0%	35 28.2%	25 20.3%	124 100.0%	27 27.0%	24 24.4%	48 48.6%	99 100.0%
アンプラーゲ	31 27.7%	28 24.9%	32 28.3%	21 19.1%	112 100.0%	24 28.4%	20 23.7%	40 47.9%	84 100.0%
デパス	26 26.1%	24 24.7%	27 27.4%	21 21.8%	98 100.0%	21 25.8%	20 24.8%	40 49.4%	81 100.0%
レクサプロ	10 15.9%	14 21.8%	23 35.4%	17 26.9%	65 100.0%	17 21.0%	17 21.6%	46 57.4%	80 100.0%
ラジカット	30 27.1%	27 25.1%	32 28.9%	21 18.9%	109 100.0%	20 27.4%	18 25.4%	34 47.2%	72 100.0%
テネリア	0 0.1%	0 3.8%	5 64.0%	3 32.1%	8 100.0%	11 17.3%	16 24.0%	38 58.8%	65 100.0%
ヘルベッサー	19 26.9%	17 24.7%	19 28.2%	14 20.2%	69 100.0%	15 27.0%	13 24.2%	27 48.8%	55 100.0%
タナトリン	17 27.4%	15 24.6%	18 28.4%	12 19.6%	62 100.0%	13 28.0%	11 24.3%	22 47.7%	46 100.0%
ワクチン	88 30.9%	52 18.3%	96 33.7%	49 17.1%	284 100.0%	49 17.4%	62 21.9%	171 60.6%	282 100.0%
インフルエンザ	△ 1 △ 0.7%	12 16.2%	65 90.6%	△ 4 △ 6.1%	72 100.0%	△ 1 △ 0.7%	9 12.4%	67 88.3%	76 100.0%
テトラビック	29 43.1%	5 7.5%	12 17.3%	22 32.2%	67 100.0%	18 25.2%	18 25.3%	35 49.5%	71 100.0%
水痘ワクチン	10 28.9%	9 25.0%	7 19.3%	10 26.8%	36 100.0%	6 11.9%	13 24.9%	33 63.2%	52 100.0%
田辺製薬販売 取扱品 (注2)	35 25.0%	32 22.5%	41 29.4%	32 23.1%	141 100.0%	34 24.7%	31 22.4%	73 53.0%	137 100.0%
海外医療用 医薬品	51 23.3%	53 24.1%	59 26.9%	57 25.8%	220 100.0%	53 24.1%	60 27.5%	106 48.4%	220 100.0%
ヘルベッサー	15 25.3%	13 22.6%	15 25.1%	16 26.9%	58 100.0%	16 26.3%	19 31.3%	26 42.4%	60 100.0%
アルガトロバン (ノバスタン)	7 24.8%	7 26.3%	7 25.3%	6 23.7%	27 100.0%	7 31.0%	6 25.3%	10 43.8%	22 100.0%
タナトリン	5 25.8%	4 20.8%	5 27.2%	5 26.3%	18 100.0%	5 21.7%	6 27.6%	11 50.6%	21 100.0%
製造受託品(注3)	15 25.9%	14 24.5%	14 24.0%	15 25.6%	58 100.0%	9 27.5%	12 35.2%	12 37.4%	33 100.0%
ロイヤリティ収入等	71 18.9%	82 21.8%	113 30.0%	110 29.3%	376 100.0%	95 17.7%	184 34.3%	257 48.0%	536 100.0%
ジレニアロイヤリティ	65 20.1%	76 23.6%	95 29.6%	86 26.6%	322 100.0%	77 -	111 -	非開示 -	非開示 -
一般用医薬品	11 25.5%	13 29.0%	11 24.4%	9 21.1%	45 100.0%	12 28.3%	10 22.6%	21 49.1%	43 100.0%
売上高合計	1,039 25.2%	989 24.0%	1,204 29.2%	895 21.7%	4,127 100.0%	946 23.3%	1,043 25.7%	2,071 51.0%	4,060 100.0%

※ 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) 当社は2014年10月21日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしました。

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注3) 他社製品の製造受託品等

## 6 新製品開発状況について(2014年10月29日現在)

### 1. 新規薬剤

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源
MT-4666	$\alpha$ 7nACh受容体作動剤 (アルツハイマー型認知症)	国際共同治験*	フェーズ 3	米:フォーラムファーマ シューティカルズ
MT-2412 (テネリグリプチン、カナグリ ロジン)	DPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤の合剤 (2型糖尿病)	日本	フェーズ 3	自社
MP-214 (カリブラジン)	ドバミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	日本	フェーズ 2b/3	ハンガリー: ゲデオンヒター
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	欧州	フェーズ 2	自社
		米国	フェーズ 1	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州	フェーズ 2	自社
		日本	フェーズ 2	
		米国	フェーズ 1	
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	自社
	(乾癬)	欧州	フェーズ 2	
	(炎症・自己免疫疾患)	日本、欧州、米国	フェーズ 1	
MT-2301	ヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン (小児のHibの予防)	日本	フェーズ 2	米:ニューロン バイオテック
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ	フェーズ 2	自社
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国、カナダ	フェーズ 2	自社
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	カナダ	フェーズ 1	自社
MP-424 (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎)	韓国	フェーズ 1	米:ヴァーテックス ファーマシューティカ ルズ
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	遺伝子組換えヒト血清アルブミン (安定化剤)	米国	フェーズ 1	自社
MP-124	PARP阻害剤 (脳梗塞急性期)	米国	フェーズ 1	自社
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤 (高血圧症)	欧州	フェーズ 1	自社
MT-0814	CCケモカイン受容体3拮抗剤 (加齢黄斑変性症)	日本	フェーズ 1	自社

\*:フォーラムファーマシューティカルズと共同開発



## 2. 効能追加

製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
テラピック (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (O型慢性肝炎[ペガシス併用])	日本	フェーズ 3	米:ヴァーテックス ファーマシューティ カルズ	
	(O型慢性肝炎[フェロン併用])		フェーズ 3		
タリオン (ベボタスチン)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患 治療剤 (小児・アレルギー性鼻炎)	日本	申請中 (2014年5月)	日:宇部興産	
	(小児・アトピー性皮膚炎)		申請中 (2014年5月)		
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症*)	日本	フェーズ 3	自社	
レミケード (インフリキシマブ [遺伝子組換え])	抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤 (難治性川崎病*)	日本	フェーズ 3	米:ヤンセン・ バイオテック	
	(特殊型ベーチェット病*)		フェーズ 3		
	(小児・クローン病)		フェーズ 3		
	(小児・潰瘍性大腸炎)		フェーズ 3		
	(乾癬:用法・用量の変更 [増量])		フェーズ 3		
イムセラ (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験	フェーズ 3	自社	日本はノバルティス ファーマと共同開発 海外はノバルティスに 導出
トリピック (沈降精製百日せき ジフテリア破傷風混合 ワクチン)	ワクチン・トキソイド混合製剤 (百日せきジフテリア破傷風感染予防; 2期接種)	日本	フェーズ 3	日:一般財団法人 阪大微生物病研究 会	一般財団法人阪大微 生物病研究会と共同 開発
カナグル (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (糖尿病性腎症)	国際共同治験	フェーズ 3	自社	治験依頼者:ヤンセン リサーチ アンド デベ ロップメント
ピンドレン (コレスチラン[INN])	リン吸収阻害作用 (小児・高リン血症)	欧州	フェーズ 3	自社	
コレバイン (コレスチミド(JAN))	胆汁酸分泌制御 (2型糖尿病)	日本	フェーズ 2	自社	
	リン吸収阻害作用 (高リン血症)		フェーズ 1		

\*希少疾病用医薬品指定

### 3. 導出品

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	導出先 (備考)
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[徐放性製剤])	米国	フェーズ 3	米:ヤンセンファーマシューティカルズ
	(糖尿病性腎症)	国際共同治験	フェーズ 3	
FTY720 (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (慢性炎症性脱髄性多発根神経炎)	国際共同治験	フェーズ 3	スイス:ノバルティス (日本は、当社とノバルティスファーマの共同開発)
	(一次進行型多発性硬化症)	国際共同治験	フェーズ 3	スイス:ノバルティス
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	日:千寿製薬
MT-210	セロニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	米:ミネルバ・ニューロサイエンス
TA-7906	PDE4阻害剤 (アトピー性皮膚炎)	日本	フェーズ 2	日:マルホ
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国	フェーズ 2	韓:サマファーマ
TA-8995	CETP阻害剤 (脂質異常症)	オランダ、 デンマーク	フェーズ 2	オランダ:デジマファーマ
MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	フェーズ 2	日:協和発酵キリン
MP-513 (テネグリプチン)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[徐放性製剤])	韓国	フェーズ 1	韓:ハンドク
sTU-199 (テナトプラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (胃食道逆流症)	欧州	フェーズ 1	仏:ネグマ(シテム)
Wf-516	セロニン取り込み阻害 / セロニン1A受容体拮抗剤 (うつ病)	欧州	フェーズ 1	米:ミネルバ・ニューロサイエンス
Y-803	BRD阻害剤 (血液がん)	米国、欧州	フェーズ 1	スイス:オンコエシックス (治験コード:OTX015)

#### 4. 2014年度第1四半期決算発表時点(2014年7月29日)からの変更点

##### ① 自社開発品

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2014年10月29日現在
テラビック (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎[ジェノタイプ2])	日本	申請中 (2013年12月)	承認 (2014年9月)
MP-424 (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎)	台湾	申請中 (2013年1月)	承認 (2014年10月)
MT-2412 (テネリグリブチン、カナグリフロジン)	DPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤の合剤 (2型糖尿病)	日本	記載なし	フェーズ 3
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防)	米国	フェーズ1/2	フェーズ2
		カナダ	記載なし	フェーズ2
MT-0814	CCケモカイン受容体3阻害剤 (加齢黄斑変性症)	日本	記載なし	フェーズ 1
MT-9938 (ナルフラフィン)	$\kappa$ オピオイド受容体作動剤 (透析患者における難治性そう痒症)	米国	フェーズ 2	ライセンス契約終了

##### ② 導出品

治験コード (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2014年10月29日現在
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病・メトホルミンとの合剤[即放性製剤])	米国	審査完了報告通知 (Complete Response Letter)受領 (2013年12月)	承認 (2014年8月)
MT-4580	カルシウム受容体作動剤 (透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症)	日本	フェーズ 1/2	フェーズ 2

## 5. 新製品開発状況補足資料(2014年10月29日現在)

### ① 新規薬剤

治験コード(一般名)	補足説明
MP-424 (テラプレビル)	プロテアーゼNS3-4A阻害剤。C型肝炎ウイルスのプロテアーゼを阻害し、ウイルス量を低下させる経口投与可能なC型肝炎治療剤。ヴァーテックスファーマシューティカルズ(米)より導入。台湾で2014年10月に承認取得、韓国でフェーズ1。日本では、ジェノタイプ1、2のC型肝炎治療剤として製品名テラビックで販売中。
MT-4666	$\alpha$ 7nACh受容体作動剤。アセチルコリンおよびグルタミン酸シグナル伝達を賦活化させることにより、認知機能を改善。アルツハイマー型認知症を対象にフォーラムファーマシューティカルズと国際共同治験フェーズ3を実施中。
MT-2412	テネリグリブチン(DPP-4阻害剤)とカナグリフロジン(SGLT2阻害剤)の合剤。日本で2型糖尿病を対象にフェーズ3。
MP-214 (カリプラジン)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト。統合失調症の陽性症状に加え、陰性症状や認知機能障害にも効果が期待される。ゲデオンリヒター(ハンガリー)より導入。日本で統合失調症を対象にフェーズ2b/3。
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP-4阻害剤。食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。米国でフェーズ1、欧州でフェーズ2。日本では、製品名テネリアで2012年9月に発売。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤。腎保護作用を示す。糖尿病性腎症を対象に日本および欧州でフェーズ2、米国でフェーズ1。
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的拮抗剤。リンパ球のリンパ節からの移出を抑制し、自己免疫反応を抑制する。イムセラ/ジレニアの後継品。多発性硬化症を対象に欧州およびカナダでフェーズ2。乾癬を対象に欧州でフェーズ2。炎症・自己免疫疾患を対象に日本、欧州および米国でフェーズ1。
MT-2301	ヘモフィルスインフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン。ニューロンバイオテック(米)より導入。小児のHibによる侵襲性感染症の予防。日本でフェーズ2。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。インフルエンザ[H5N1]の予防を適応に、カナダでフェーズ2。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。季節性インフルエンザの予防を適応に、米国・カナダでフェーズ2。
インフルエンザワクチン	植物由来VLPワクチン。インフルエンザ[H7N9]の予防を適応に、カナダでフェーズ1。
GB-1057(人血清アルブミン [遺伝子組換え])	遺伝子組換えヒト血清アルブミン。米国で安定化剤としてフェーズ1。
MP-124	PARP酵素阻害により神経細胞の傷害保護作用を示す。米国・カナダでフェーズ1。
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤。欧州でフェーズ1。
MT-0814	CCケモカイン受容体3拮抗剤。日本でフェーズ1。

### ② 効能追加

製品名(一般名)	補足説明
テラビック (テラプレビル)	日本で、2011年にジェノタイプ1のC型肝炎治療剤として発売。2014年9月にジェノタイプ2に対する効能追加を日本で取得。ペガシスとの併用療法およびフェロンとの併用療法を対象に日本でフェーズ3。
タリオン (ベボタスチン)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤。2000年に成人のアレルギー性疾患治療剤として発売。日本で小児・アレルギー性鼻炎および小児・アトピー性皮膚炎の適応追加を申請中。
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去作用を有する。2001年に脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善薬として発売。日本で筋萎縮性側索硬化症[2005年6月、希少疾病用医薬品指定]の適応追加でフェーズ3。
レミケード (インフリキシマブ[遺伝子組 換え])	世界初の抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤。日本で、2002年にクローン病治療剤として発売。その後、関節リウマチ、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎の治療剤としての適応も取得。難治性川崎病[2012年9月、希少疾病用医薬品指定]でフェーズ3。特殊型ベーチェット病[2012年9月、希少疾病用医薬品指定]でフェーズ3。小児・クローン病でフェーズ3。小児・潰瘍性大腸炎でフェーズ3。乾癬:用法・用量の変更[増量]でフェーズ3。
イムセラ (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。リンパ球のリンパ節からの移出を抑制することで免疫調整作用を発揮し、多発性硬化症におけるミエリンの破壊(脱髄)を防止する。国内ではノバルティスファーマと共同で開発し、2011年に多発性硬化症治療薬として発売。慢性炎症性脱髄性多発根神経炎でフェーズ3(国際共同治験)。日本ではノバルティスファーマとの共同開発。
トリビック (沈降精製百日せきジフテリア 破傷風混合ワクチン)	百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン。百日せきジフテリア破傷風の予防[2期接種]を適応に、一般財団法人阪大微生物病研究会と共同開発。日本でフェーズ3。
カナグル (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。日本では、2型糖尿病を対象に2014年9月に発売。製品名 INVOKANA <sup>®</sup> としてヤンセンファーマシューティカルズが米国で、また、その関係会社が欧州で販売中。糖尿病性腎症を対象に、国際共同治験フェーズ3を実施中。
ビンドレン/コレバイン (コレステラン[INN]/コレステミ ド[JAN])	陰イオン交換樹脂製剤。日本では、1999年より高コレステロール血症治療薬として製品名コレバインで販売中。欧州(ドイツ、オーストリア、イギリス)では、高リン血症治療薬として製品名ビンドレンで販売中。日本で2型糖尿病でフェーズ2、高リン血症でフェーズ1。欧州で小児・高リン血症でフェーズ3。

③ 導出品

治験コード (一般名)	補足説明
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。2型糖尿病を対象に製品名 INVOKANA <sup>®</sup> としてヤンセンファーマシューティカルズが米国で、また、その関係会社が欧州で販売中。メトホルミンとの合剤[即放性製剤]は欧州で2014年4月に承認を取得、米国では2014年8月に承認を取得した。メトホルミンとの合剤[徐放性製剤]の生物学的同等性試験(フェーズ1)を米国で実施中。糖尿病性腎症は国際共同治験フェーズ3を実施中。
FTY720 (フィンゴリモド)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト。多発性硬化症治療薬として日本では、製品名イムセラで販売中。ノバルティスが日欧米で製品名ジレニアで販売中。慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(CIDP)および一次進行型多発性硬化症を対象にノバルティスが国際共同治験でフェーズ3。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK(Rho-キナーゼ)阻害作用をもつ薬剤。千寿製薬が緑内障を対象に国内でフェーズ2。
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤。ミネルバ・ニューロサイエンス(米)が統合失調症を対象に欧州でフェーズ2。
TA-7906	外用PDE4阻害剤。アトピー性皮膚炎を予定適応症に、マルホが国内でフェーズ2。
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤。喘息を予定適応症に、サマファーマが韓国でフェーズ2。
TA-8995	CETP阻害剤。HDLコレステロールを増加させ、LDLコレステロールを低下させる。脂質異常症を予定適応症に、デジマファーマがオランダおよびデンマークでフェーズ2。
MT-4580	カルシウム受容体作動剤。血液透析患者における二次性副甲状腺機能亢進症を予定適応症に、協和発酵キリンが日本でフェーズ2。
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP-4阻害剤。食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療薬。ハンドクファーマシューティカルズが韓国で2014年4月に承認取得。メトホルミンとの合剤(徐放性製剤)は韓国でフェーズ1。
sTU-199 (テナトプラゾール)	国内で開発していたTU-199の光学異性体で、ネグマ(仏)へ導出。欧米で実施されたフェーズ1のPK/PD試験の結果、長い血中濃度半減期より1日1回投与で夜間の優れた胃酸コントロールが確認され、早期の症状改善や治癒が期待されている。子会社のシテムが欧州でフェーズ1。
Wf-516	セロトニン取り込み阻害 / セロトニン1A受容体拮抗剤。うつ病を予定適応症に、ミネルバ・ニューロサイエンス(米)が欧州でフェーズ1。
Y-803	BRD-ヒストン結合阻害剤。血液がんを予定適応症に、オンコエシックスが米国、欧州でフェーズ1。

## 7 その他

### 1. 関係会社

#### ① 関係会社数

	2014年度上期末	2013年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	31	31	-	
非連結子会社数	1	2	△ 1	減少)シミックCMO足利
関連会社数	1	5	△ 4	減少)エーピーアイコーポレーション、アルケマ吉富、メイビック ヨーロッパ、メイビック インディア
合計	33	38	△ 5	

#### ② 連結子会社一覧

(2014年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	田辺三菱製薬工場(株)	1,130百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
2	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100,000,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
3	三菱製薬(広州)有限公司	US\$48,500,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
4	天津田辺製薬有限公司	US\$16,230,000	75.4 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
5	吉富薬品(株)	385百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の学術情報伝達
6	(株)バイファ	100百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
7	田辺製薬吉城工場(株)	400百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
8	田辺製薬販売(株)	169百万円	100.0 (—)	3月末	ジェネリック医薬品等の販売
9	(株)田辺アールアンドディー・サービス	44百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発支援サービス
10	田辺総合サービス(株)	90百万円	100.0 (—)	3月末	不動産の管理、宣伝物制作等
11	(株)ベネシス(注1)	100百万円	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
12	MPロジスティクス(株)	95百万円	100.0 (—)	3月末	物流・倉庫業
13	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	US\$100	100.0 (100.0)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
14	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	US\$166	100.0 (—)	3月末	米国グループ会社の経営管理
15	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
16	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U. S. A.	US\$3,000,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
17	タナベ U. S. A.	US\$1,400,000	100.0 (100.0)	3月末	化成品等の販売
18	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
19	MTPC ホールディングス カナダ	CAD 220,209千	100.0 (—)	3月末	メディカゴグループへの投資
20	メディカゴ	CAD 217,042千	60.0 (54.3)	12月末	ワクチンの研究開発・製造
21	メディカゴ U. S. A.	US\$99	60.0 (60.0)	12月末	ワクチンの製造
22	メディカゴ R&D	CAD 500	60.0 (60.0)	12月末	ワクチンの研究開発
23	田辺三菱製薬研究(北京)有限公司	US\$1,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の研究開発
24	広東田辺医薬有限公司	CNY 7,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の販売
25	台湾田辺製薬股份有限公司	NT\$90,000,000	65.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
26	台田薬品股份有限公司	NT\$20,000,000	65.0 (—)	3月末	医薬品の販売
27	タナベ インドネシア	US\$2,500,000	99.6 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
28	ミツビシ タナベ ファーマ ヨーロッパ	£4,632,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発
29	ミツビシ タナベ ファーマ ゲーエムペーハー	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売

(注1) 当社は2014年10月1日付で(株)ベネシスを吸収合併いたしました。

(注2) 上記以外に清算手続中の連結子会社が2社あります。

#### ③ 持分法適用関連会社一覧

(2014年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1,600,000	50.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売

## 2. 株式の状況

### ① 発行済株式数

	2014年9月末	2014年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数	427,412	426,862
期末発行済株式数	560,990,504	560,991,054
期中平均自己株式数	427,089	425,775
期中平均株式数	560,990,827	560,992,141

### ② 大株主の状況

順位	株主名	2014年9月末		2014年3月末		
		持株数 千株	持株比率	順位	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	1	316,320	56.34%
2	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	22,523	4.01%	2	22,305	3.97%
3	日本生命保険	12,065	2.15%	3	13,574	2.42%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	9,445	1.68%	4	9,406	1.68%
5	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	9,043	1.61%	7	6,650	1.18%
6	三菱東京UFJ銀行	7,254	1.29%	5	7,254	1.29%
7	ジェーピー モルガン チェース バンク 385147	6,231	1.11%	6	7,100	1.26%
8	ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リユーエス タックス エグゼンプテド ペンション ファンズ	5,517	0.98%	11	4,167	0.74%
9	ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシートホルダーズ	5,293	0.94%	8	5,238	0.93%
10	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	4,970	0.89%	10	4,432	0.79%

### ③ 所有者別株式数分布状況

	2014年9月末			2014年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	73	85,806	15.29%	77	85,620	15.25%
外国法人等	437	110,031	19.60%	402	110,839	19.75%
個人・その他(注)	14,955	26,618	4.74%	16,660	28,217	5.03%
その他の法人	264	335,030	59.69%	270	334,919	59.67%
金融商品取引業者	29	3,825	0.68%	28	1,716	0.31%
合計	15,758	561,313	100.00%	17,437	561,314	100.00%
単元未満株式の状況	-	104	-	-	103	-

\* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2014年9月末427千株、2014年3月末426千株)を含んでおります。

### ④ 配当金／株価推移

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度上期	2014年度予想
1株当たり年間配当金(円)	28	35	40	40	20	40
配当性向(%)	41.6	50.3	53.6	49.4	-	55.4
(のれん償却前)	(32.9)	(40.0)	(43.2)	(40.5)	(-)	(44.4)
期末株価(円)	1,350	1,161	1,445	1,443	1,609	-
株式時価総額(億円)	7,579	6,518	8,112	8,101	9,033	-

## 参考

### 主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNF<math>\alpha</math>をターゲットとした抗TNF<math>\alpha</math>抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2009年7月に関節リウマチにおける用法・用量の変更が、2011年8月にクローン病における用法・用量の変更がそれぞれ承認された。2012年4月より、4回目の投与からは安全性に問題がなければ、従来の2時間よりも短い時間で点滴することが可能となった(投与量により点滴時間は異なるが、平均速度が1時間あたり5mg/kgを超えない投与速度までの短縮が可能)。                      オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売した。                      オリジン:宇部興産</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 $\beta$ 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈治療剤)
<p>世界100カ国以上で使用されている代表的な<math>\beta</math>1遮断剤。極めて高い<math>\beta</math>1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともにエビデンスに基づいた心保護効果を有する。2011年5月の「慢性心不全」の効能追加に続き、2013年6月に「頻脈性心房細動」の効能を追加、心不全と心房細動に効能を有する唯一の<math>\beta</math>遮断薬である。                      オリジン:(ドイツ)メルクセロノ</p>			
シンボニー	2011年9月発売	薬効	ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNF<math>\alpha</math>をターゲットとした抗TNF<math>\alpha</math>抗体で、4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)であり、現在ヤンセンファーマにて潰瘍性大腸炎に対する臨床試験を実施中である。                      (ヤンセンファーマとの共同販売)                      オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
ヴェノグロブリンH	1992年1月発売	薬効	血漿分画製剤(液状・静注用免疫グロブリン製剤)
<p>国内の献血血液を原料として製造された静注用の免疫グロブリン製剤。重症感染症(抗生物質との併用)や川崎病の急性期などに使用される。また、2010年10月、「多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限り)」、2011年2月、「慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多発性運動ニューロパチーを含む)の筋力低下の改善」、同年9月、「全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏功しない場合に限り)」、2013年8月、「天疱瘡(ステロイド剤の効果不十分な場合)」の効能追加に係る承認を取得。治療の選択肢が広がるとともに患者さんのQOL向上に貢献できるものと期待している。</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。                      オリジン・製造販売元:クレハ</p>			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
<p>本剤の主成分ウルソデオキシコール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効能を持つ。</p>			
アンブラーグ	1993年10月発売	薬効	5-HT2ブロッカー(抗血小板剤)
<p>閉塞性動脈硬化症(ASO)など慢性動脈閉塞症に対する治療薬(経口抗血小板薬)である。セロトニンにより増強される血小板凝集、血管収縮、血管平滑筋細胞増殖を抑制することにより慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状を改善する。特に側副血行路の血流を改善する。</p>			
デパス	1984年3月発売	薬効	精神安定剤
<p>国内で最も汎用されている抗不安薬。強力な抗不安作用とともに、優れた鎮静・催眠作用、筋緊張緩和作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。</p>			



レキサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
セロトニントランスポーターへの選択性が高いSSRIで、世界97の国と地域で承認されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。 オリジン: Lundbeck(デンマーク)、製造販売元: 持田製薬			
ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカールスカベンジャー(脳保護剤)
我が国で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカールスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。			
テネリア	2012年9月発売	薬効	選択的DPP-4阻害剤
当社が創製した初の日本オリジンのジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害剤で活性型GLP-1の血中濃度を上昇させることにより、血糖依存的なインスリン分泌促進・グルカゴン分泌抑制をもたらす血糖降下作用を発揮する2型糖尿病治療剤である。			
ヘルベッサー	1974年2月発売	薬効	カルシウム拮抗剤(狭心症・高血圧症治療剤)
世界で広く使用されている代表的なカルシウム拮抗剤。降圧作用に加え、心拍数を抑えて心臓の負担を減らすとともに、冠血管を拡張し冠血流量を増加させる。心臓保護効果を有する。			
タナトリアル	1993年12月発売	薬効	アンジオテンシン変換選択性阻害剤(高血圧症治療剤)
確実な血圧降下作用および高い臓器保護作用を有しながら、この種の薬剤に一般的な副作用である空咳の発生頻度が少ない。2002年1月には日本で初めて1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症への効能追加が承認された。			
テトラビック	2012年10月発売	薬効	百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防
既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回(3回)および1期追加(1回)の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎(ポリオ)の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。 オリジン・製造販売元: 一般財団法人阪大微生物病研究会			

## ニュースリリース

2014年4月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<http://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2014年 5月20日	新規2型糖尿病治療剤「SGLT2阻害剤 カナグリフロジン」 第57回日本糖尿病学会における発表演題に関するお知らせ
5月28日	欧州グループ会社の社名変更に関するお知らせ
5月29日	連結子会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ
5月30日	中国グループ会社の社名変更に関するお知らせ
6月2日	アレルギー性疾患治療剤「タリオン錠」「タリオンOD錠」小児適応追加の申請について
6月16日	新規2型糖尿病治療剤「SGLT2阻害剤 カナグリフロジン」 米国糖尿病学会における日本人Phase3臨床試験データの発表について
6月20日	ジェネリック医薬品の新発売に関するお知らせ
6月30日	国際会計基準(IFRS)の任意適用に関するお知らせ
6月30日	田辺三菱製薬工場株式会社鹿島工場譲渡に関する基本合意書締結のお知らせ
7月4日	2型糖尿病治療剤「カナグル錠100mg」の国内製造販売承認取得のお知らせ
7月8日	ー日本初の「過敏性腸症候群(IBS)の再発症状改善薬」ー 「セレキノンS」 新発売(九州・沖縄地区限定)のお知らせ
7月31日	加島オフィス棟竣工のお知らせ
8月18日	ジェネリック医薬品の製造販売承認取得に関するお知らせ
8月20日	アストラゼネカ社との共同研究契約の締結について
9月2日	2型糖尿病治療剤「カナグル錠100mg」新発売のお知らせ ー日本発グローバル 糖尿病治療の新展開ー
9月12日	血漿分画製剤の販売提携終了に関するお知らせ
9月19日	抗ウイルス剤「テラビック錠250mg」 ジェノタイプ2型C型慢性肝炎に係る追加適応の承認取得のお知らせ
9月25日	難病患者団体支援活動「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」2015年度助成募集のお知らせ。